GA·FAKE COTERIE ガ・フェーク同人誌

ドラえもん

最終話

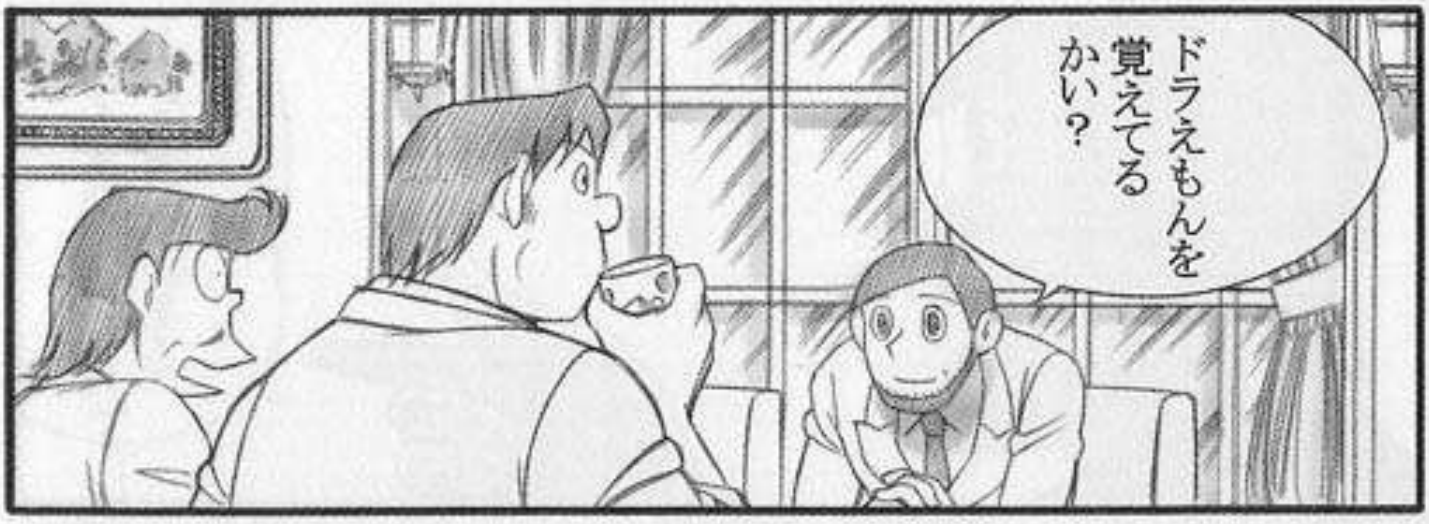
田嶋・T・安恵

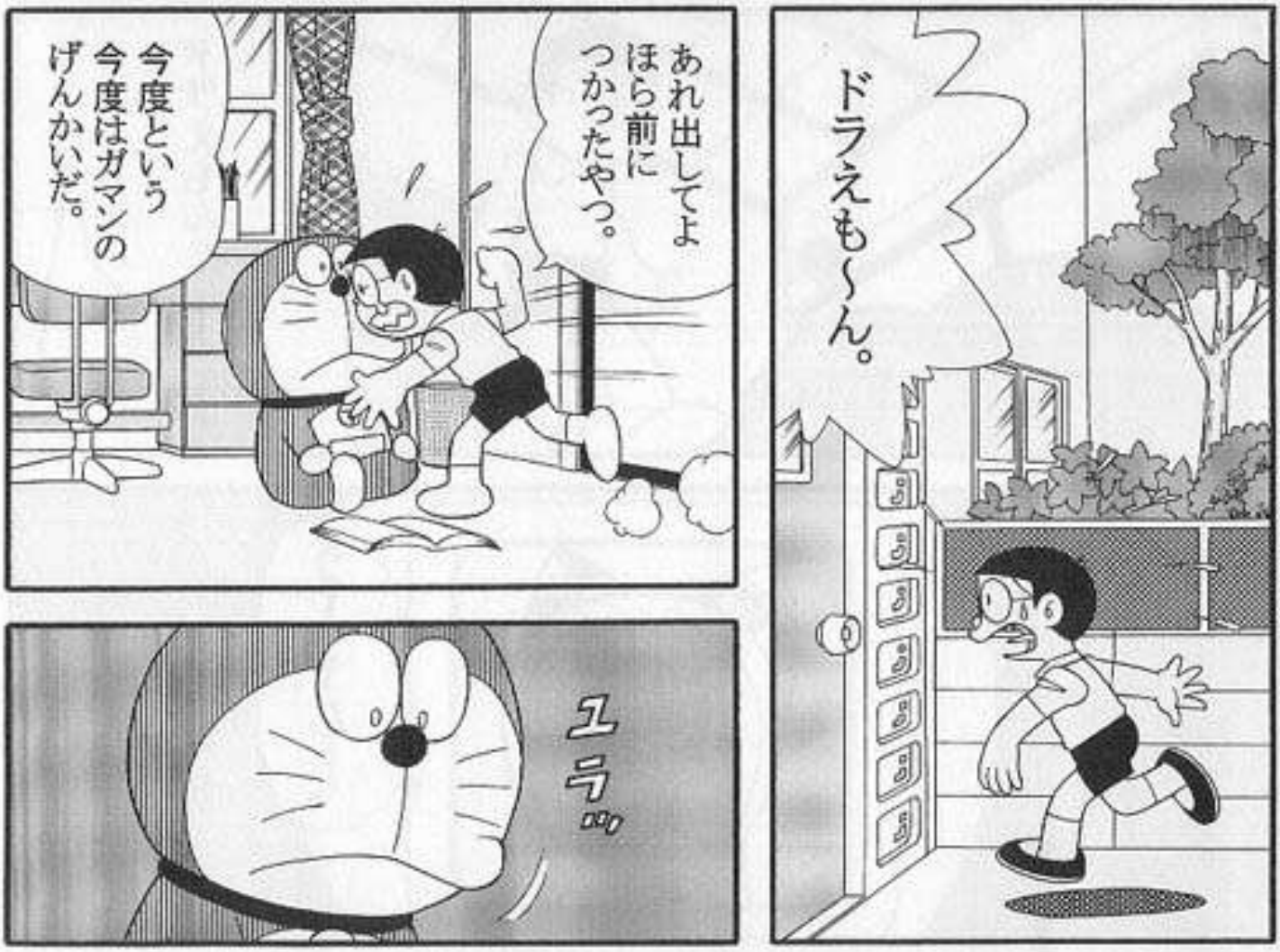
では本日のゲスト
ロボット工学の
第一人者
野比博士です。
よろしく。

やあ野比くんだ
今や日本が誇る
最先端技術のトップ。
たいしたものだね。
いえいえ
出木杉総理こそ。

のび太
外国から帰って
んだろ、
呼んでやるか。
いいね。
久しぶりに
みんなで
集まろうか。

いや、それには
およばない。
今日はね、
ぜひ二人とだけ
話をしたかった
んだよ。


ドラえもんを
覚えてる
かい?


ドラえも～ん。

あれ出してよ
ほら前に
つかったやつ。
今度という
今度はガマンの
げんかいだ。

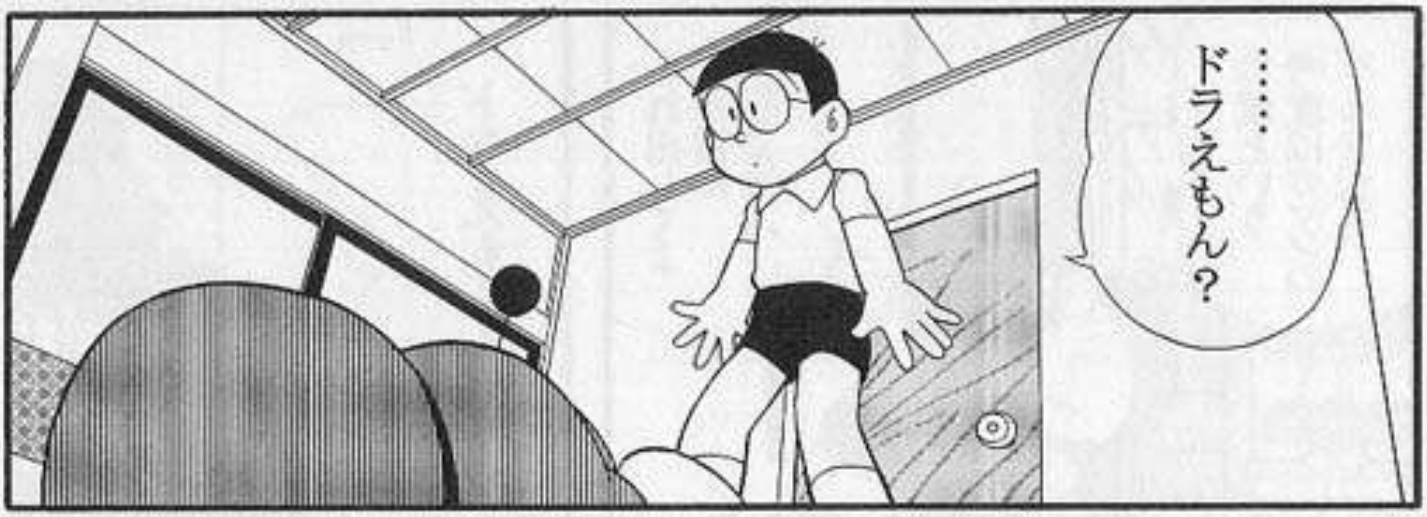
ユラ…

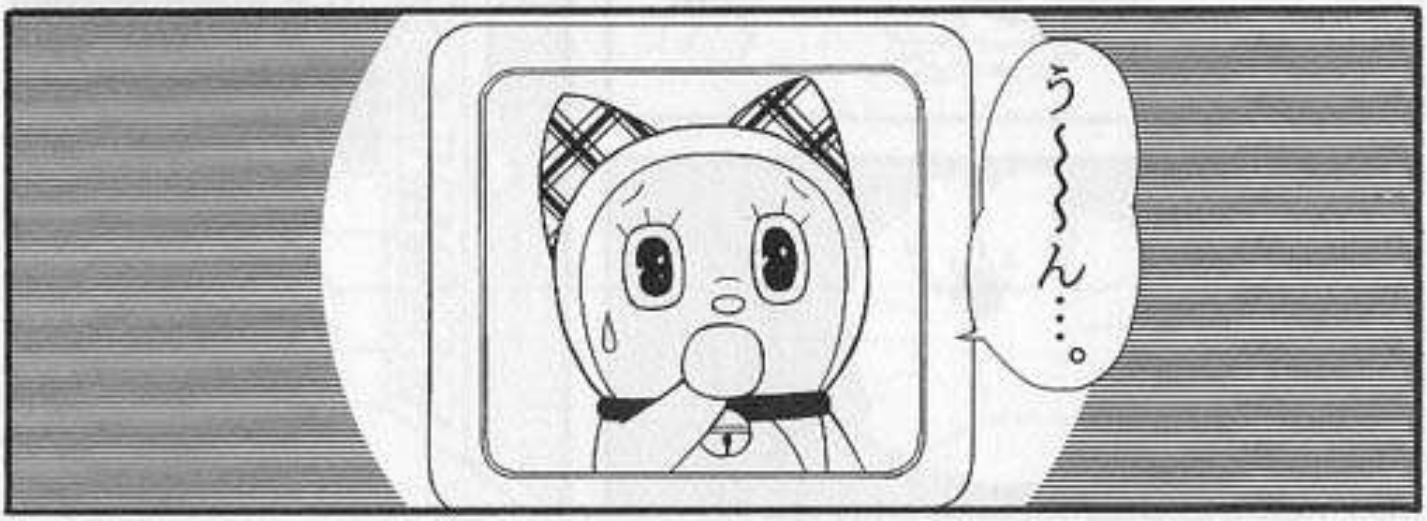
…おい。
どうしたんだよ
ドラえもん。

何とかいえよ！
ドラえもんまで
ぼくをばかに
するのか!?

ドラえもんっ
てば!!

コテ…


……
ドラえもん？


う～～ん…。

たぶん…。
電池切れだと
思うわ。
電池切れ？

なんだそうか。
じゃあ早く
電池換えてよ。

どうなの？
ドラミちゃん。
ドラえもん、
このちょうしで
ずっと動かないんだよ。

それがそう
簡単じゃないの。
旧ネコ型ロボットは
電池入れ換え時の
補助記憶回路を
耳においてるのよ。
でも
お兄ちゃんは
耳をなくしてるから
バックアップがないの。

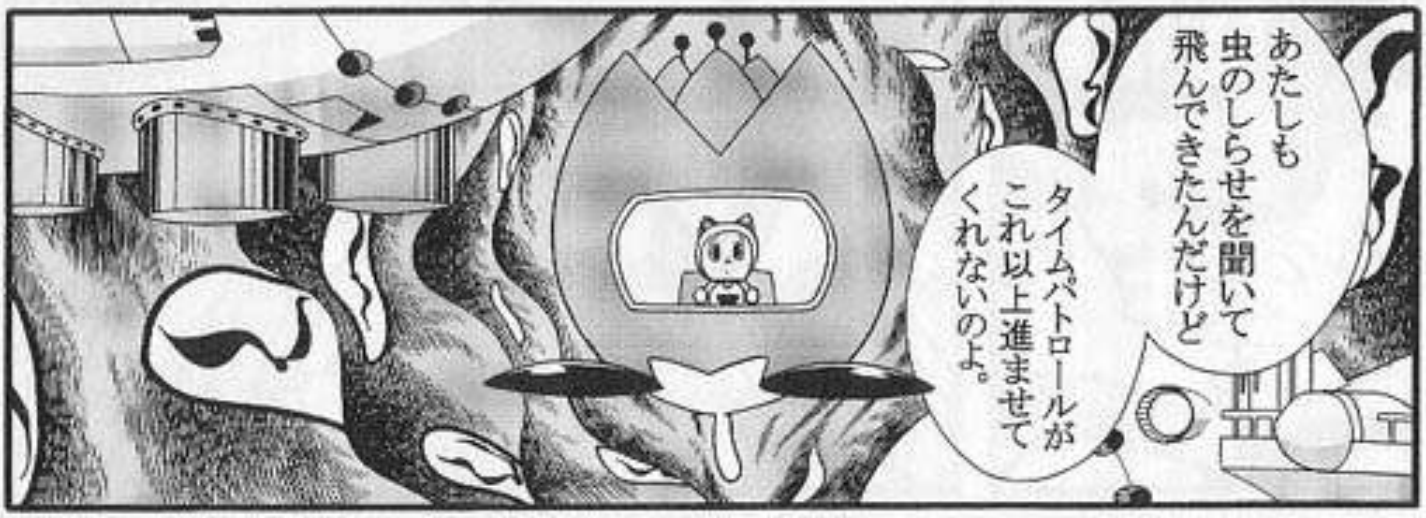
このまま
電池を入れ換えると
お兄ちゃんの記憶は
なくなるわ。
のび太さんとの
思い出が消えちゃうの!!

ドラえもんの
記憶が
なくなる!?

そんなばかな!
電池が切れただけ
なんだろ!?
入れ換えれば治るんだろ!?
おちついて
のび太さん。
どんなロボットでも
エネルギーが必要なの。
特に精巧なロボットは
重要な記憶だけ残し、
他は忘れてより人間的な…。

もういいよ。
ぼくが未来の
工場へつれていく。
のび太さん。

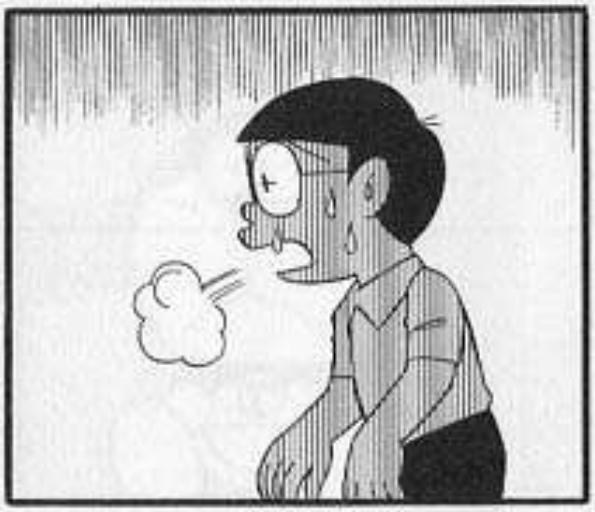
…だめなのよ。
今そちらの時代への
干渉は禁止
されてるの。

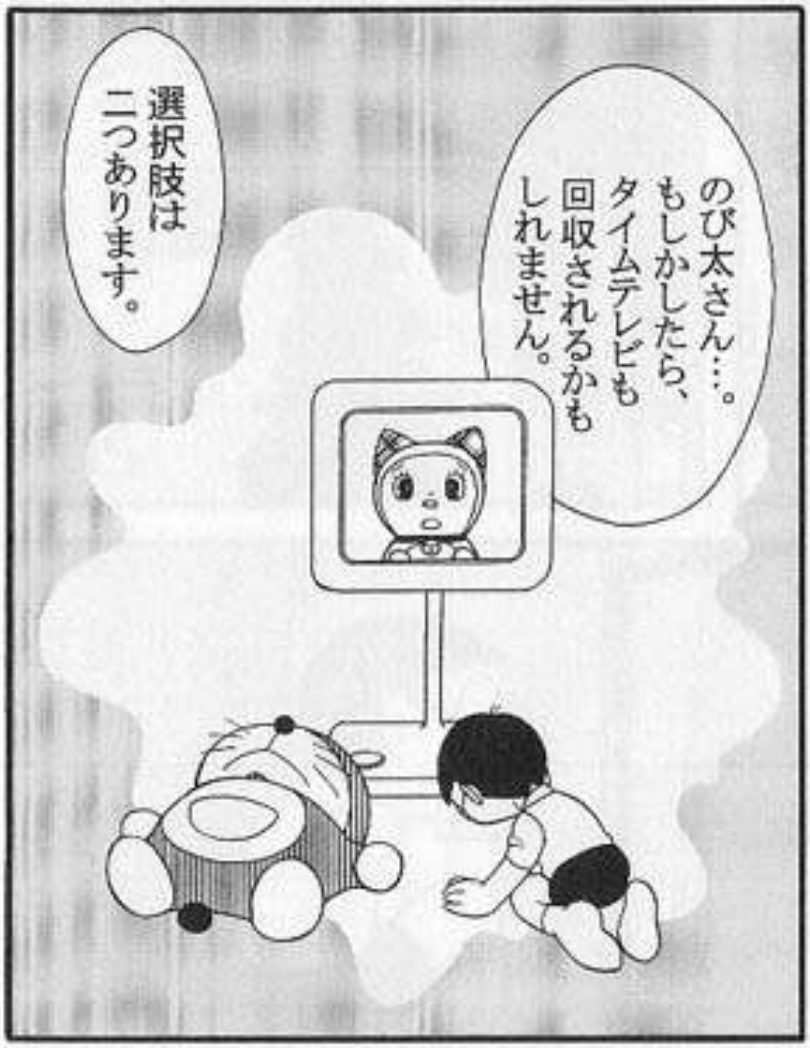

あたしも
虫のしらせを聞いて
飛んできたんだけど
タイムパトロールが
これ以上進ませて
くれないのよ。

話も聞いて
くれない。
こんな事
はじめてだわ。
じゃあ
どうすれば
いいんだよ!!

耳をつければ
記憶は残るんだろ？
ポケットから
道具を出して…。
お兄ちゃんが
機能停止している間
ポケットは使えないわ。
それにそんな精密な
改造はあたしたちの
手におえない。
だったら
作った人を
呼んでよ!!

…設計者の
所在は超重要
極秘事項なの。
残念だけど
あたしの記録にも
何重にもプロテクトが
かかってる。

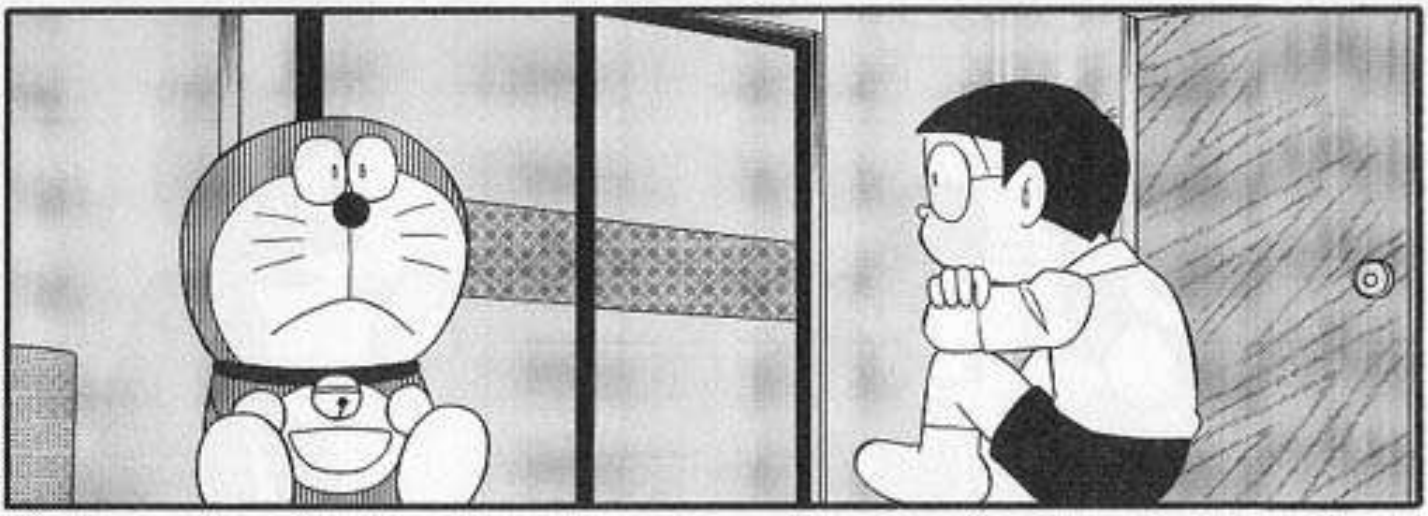


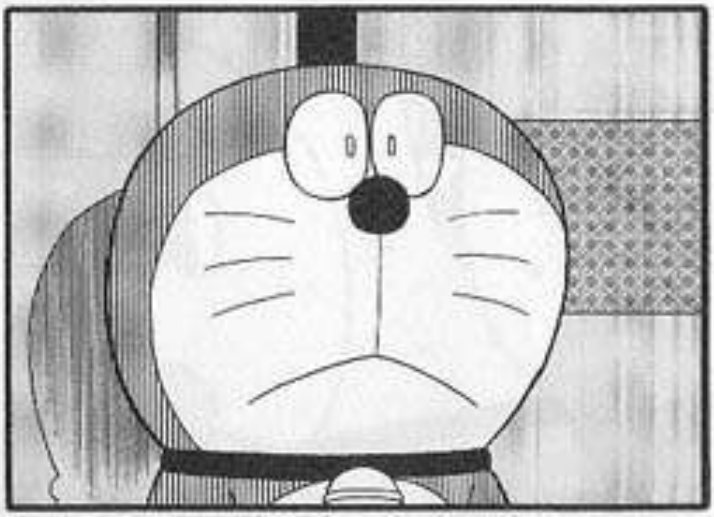

のび太さん…。
もしかしたら、
タイムテレビも
回収されるかも
しれません。
選択肢は
二つあります。

一つは未来の工場で
電池を入れ換えること。
今ならまだ
タイムパトロールを
ごまかせるかも
しれません。
お兄ちゃんの
記憶はなくなるけど
またいっしょに生活
できると思う。
もう一つは…。
未来の技術に
期待してこのまま…。

のび太
ドラちゃん
ごはんよー。

どうしたんだ？
返事もしないのよ
またケンカでも
したのかしら。




…ドラえもん。

はじめて
会った時の事、
覚えてる？

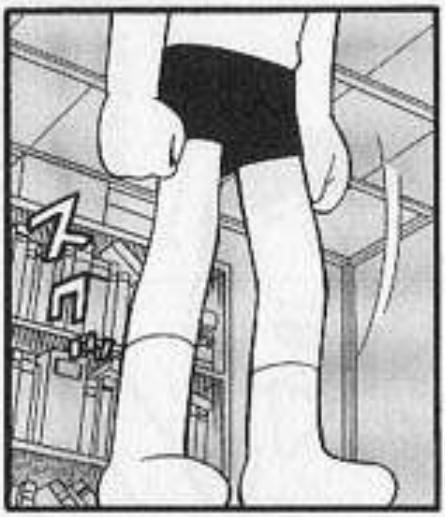
お正月だったよね。
とつぜん ろくなことないなんて いうんだもん驚いたよ。
二人で いろんな所へ いったっけなあ。
未来、過去、ふしぎな所。
命からがら 逃げたりさ。
ドラえもん 慌てると てんでだめ だからなあ。
ぼくが いじめられてた時 自分のことのように 思ってくれて…。
ちゃんとお礼 いってなかったけど、本当に うれしかったんだよ。
本気で とっくみあいの ケンカしたっけ。
でも、その数だけ 仲直りした んだよね。
よお、なんとかいえよ ドラえもん。
ドラえもんてば……。
ドラえもん……。
うっうっうっ……。

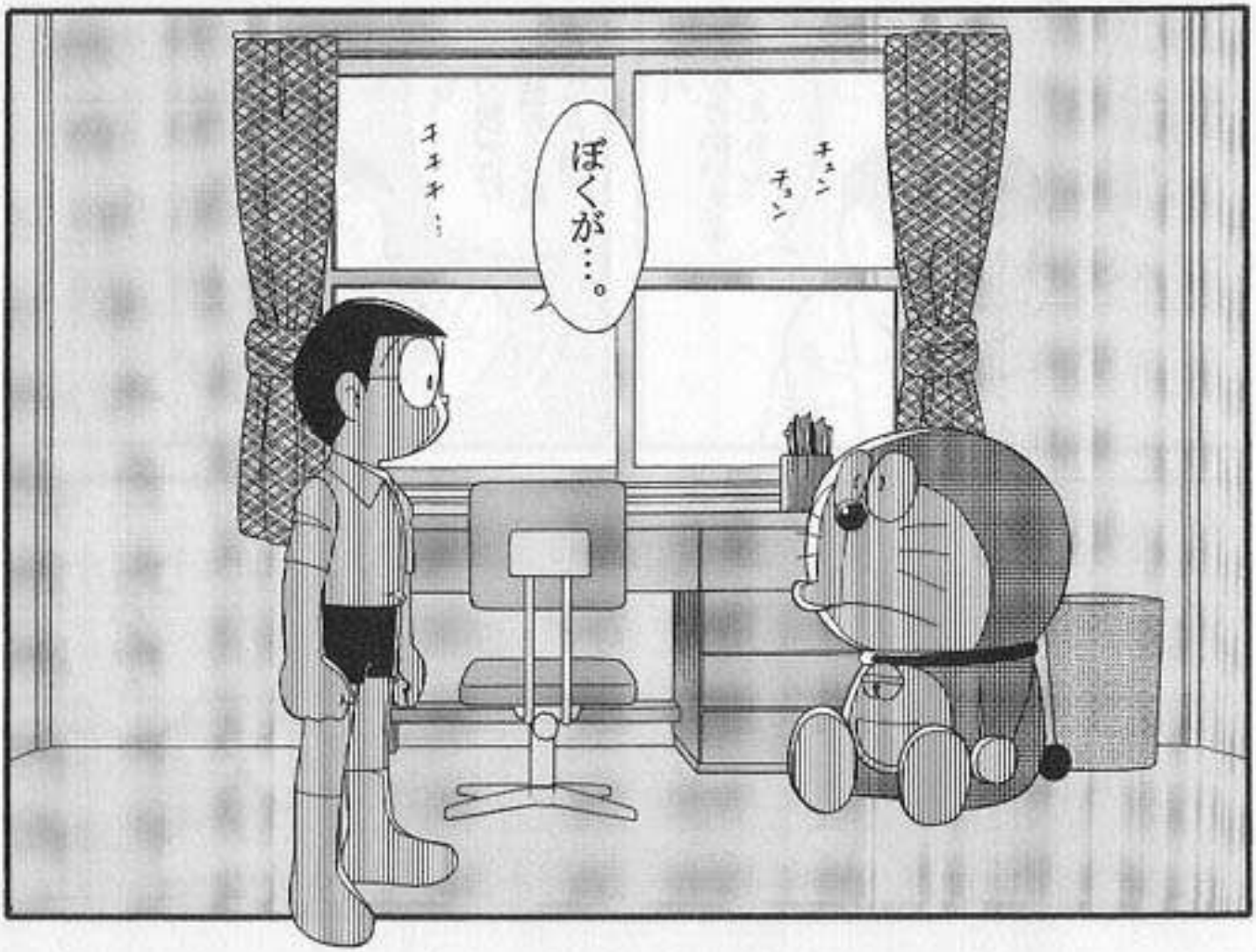
……そう。

わかったわ。
きっとお兄ちゃんも
のび太さんとの思い出
消されたくないと
思ってるはずよ。

ありがとう。
のび太さんと
出会えてよかった。

きっと未来、
お兄ちゃんを治す
手立てがみつかる。
そんな予感がするの。





月期末テスト
1 野比のび太 498
2 出木杉英才 475
3 木鳥 高夫 410
のび太さーん すごいわ。また一番よ。
のび太くん おめでとう。もう君にはかなわないなあ。
ありがとう。
でも…。ぼくが欲しいのは点数じゃない。知識なんだ。まだまだがんばらなくっちゃ。
根をつめすぎると体に悪いわ 久しぶりにうら山へピクニックにいかない？
ありがとうしずちゃん。でも調べたいことがあるから、また今度。
キャー
野比さーん
野比さーん
キャー

のび太くん…
変わったね。

変わってないわ！

のび太さんっておっちょこちょいで不真面目ですぐにお風呂覗くエッチだけど。
いつも一生懸命だった。周りに気をつかって、びんぼうクジ引いて、それでも笑っていられる強い人だったわ。

ドラちゃんがいなくなってから、何もいわないけどずっと無理してる。
私には分かるの。のび太さんは…。のび太さんは…。

しずかさん……？

やっぱりピクニックに誘うわ。
いいえ、首にナワつけてもつれてく！
のび太さーん!!

タイム
パラドックス？
たしか…
時間旅行のさい、
歴史に影響を
与える事による
矛盾だったかな。
そう！
さすが
骨川くんだ。
今、我々の文明は
袋小路に
迷い込んでいると
いってもいいだろう。
君たちは
知っているはずだ
”ドラえもんが来た”
未来の時代に
繋がるにしては
進化のスピードが
あまりにもゆるやかだと。
そういやあ
ガキの頃よく
想像してたよな。
大人になる
頃には、
宇宙旅行が
あたりまえに
できるって。
いってたね。
チューブに乗って
移動したり、
ボタン一つで料理。
メイドロボ。
うん。
ぼくもそれに
気がついた。
それからは
観察者として、
慎重に、注意深く、
行動するように
つとめたんだ。
君たちが
夏休みのたびに
していた、
冒険にも参加
せずにね。
出木杉？

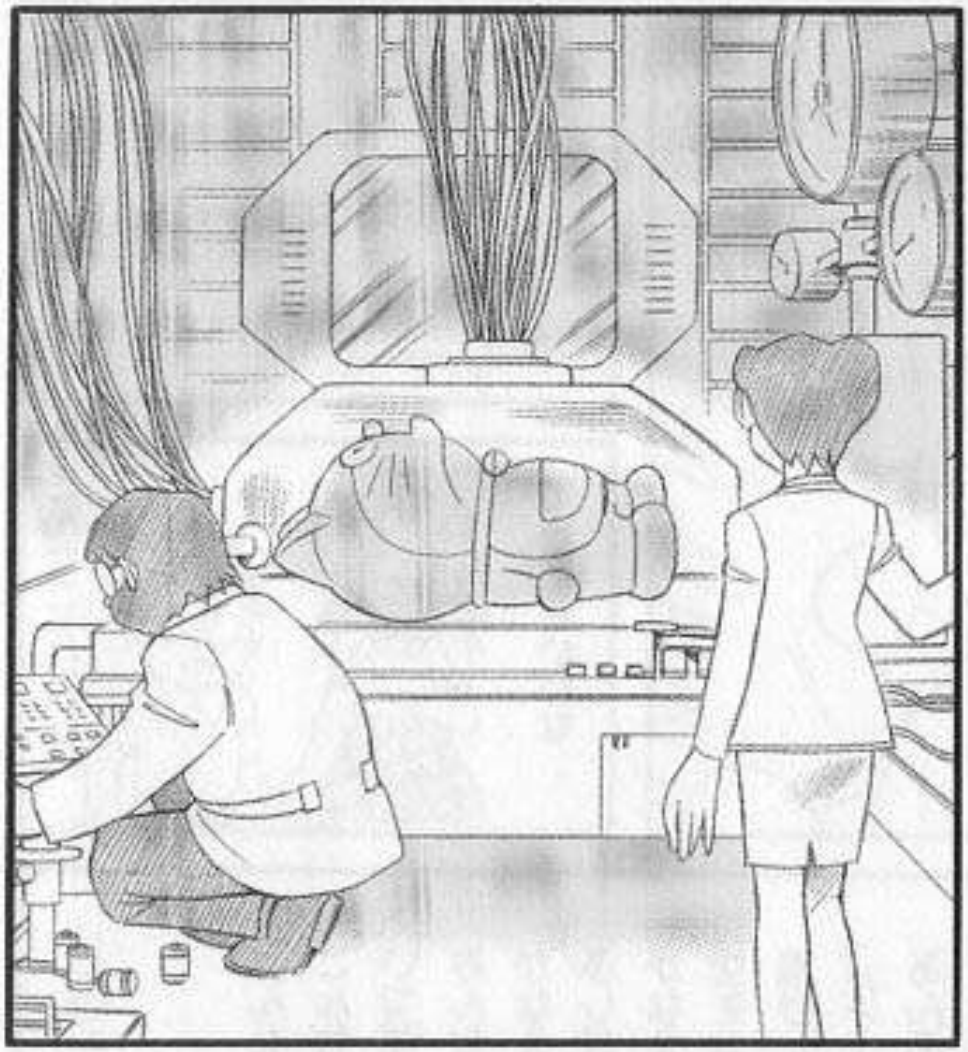
今夜…。
文明を一足飛びに
進化させる発明が、
ある技術者によって
完成する。
この事実は
歴史が狂うほどの
危険性をもっているため、
全世界のトップに
「彼ノ者ヘノ干渉ヲ禁ズ」と、
未来から通達されたほどの
超重要極秘事項だ。

おい、
おれたちに
そんな事話して
いいのか？

その技術者って
まさか…。

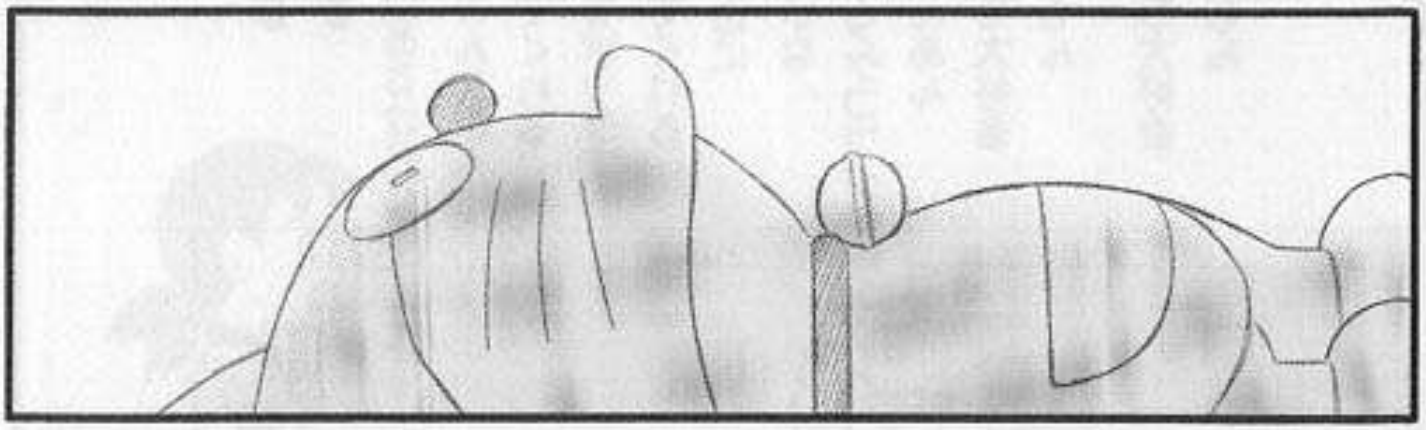
少年の頃の、
たった一つの誓い。
ぼくにもやっと分った。
彼は何一つ変わっては
いなかったのだと。

まさしく逆説的（パラドクス）だが、
35年前、
世界の夢と未来は
彼にたくされて
いたんだ。
あなたー。



しずか。
こっちへ来て
ごらん。

ここは
危険だから
入っては
いけないって。
あなた…
のび太さん？



ドラ…ちゃん。

今、スイッチを
入れるよ。

あんな夢
こんな夢
いっぱいあるけど
みんなみんなみんな
かなえてくれる
ふしぎなポッケで
かなえてくれる
空を自由に
飛びたいな
「ハイ!タケコプター」
あんあんあん
とっても大好き
ドラえもん
とっても大好き
ドラえもん